

学習内容報告書 フォーマット

学校名	壱岐市立筒城
授業者	古瀬 大輔

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海洋学習

1-2. 学年

6年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

海洋学習

- ・海について学ぶ意義について確認する。
- ・磯体験。
- ・磯体験の振り返り。

海洋学習 ステップ2

- ・壱岐の海で起きている問題やその原因について調べる。

海洋学習 私が残したい「壱岐」

- ・きれいで水産資源が豊富な壱岐の「海」を残していくためにできることを考える。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

壱岐市は周りを海に囲まれていて、水産業が盛んで昔から海の恩恵を受けて生活してきた。しかし、近年は年々獲れる魚の漁獲量が減ってきており、水産資源の枯渇が危惧されている。また、磯焼けやプラスチックごみなどの海の環境に関する問題も起きている。そこで、海について学習することで、壱岐の海の現状やよさを子供たちに知ってもらい、豊かな海を守っていくためにできることを考え、壱岐の海を未来に残していこうという心情を育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海には多様な生物がいることの理解。
- ・壱岐では、昔から海の恵みを受け人々の生活と関わりが深かったことの理解。
- ・壱岐の海で起きている問題についての理解。
- ・壱岐の豊かな海を守っていこうとする態度。

1-7. 単元の展開（全6時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>○海洋教育導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ海について学ぶのかを考える。 ・壱岐は水産業が盛んで海の恵を受けて生活してきたことを知る。 ・壱岐の海で起きていることについて調べようとする課題意識をもつ。 	<p>○壱岐がどのようなことで海と関わりがあるのか考えさせ、ワークシートに書かせる。</p> <p>○壱岐が海との関わりが深いことや環境が変化していることから、海について学ぶ意義を理解させる。</p> <p>評価：海について学ぶ意義を理解できたか。</p>
1	<p>○磯体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山崎地区の磯を観察して、どのような生き物がいるのかを調べる。 ・見つけた生き物を採集して様子を観察する。 	<p>○バケツなど必要な道具を渡し、安全に留意して磯を観察させる。</p> <p>○児童が採集した生き物をデジタルカメラで記録する。</p> <p>外部連携：壱岐市役所 SDGs 未来課 集落支援員 江口氏</p> <p>評価：磯にいる生き物を採集することができたか。</p>
1	<p>○磯体験の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の磯体験を想起し、今年度の磯体験とどのような違いがあったのかを考える。 ・昔の磯の様子を知るにはどうすればよいのか方法を考える。 	<p>○生き物の生息環境の変化が、何が原因で起きているのか考えさせる。</p> <p>評価：昔の磯の様子を知る方法について考えることができたか。</p>
2	<p>○海の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壱岐の「海」の現状や、どのような問題があるのかを調べる。 ・磯焼けや漁獲量の減少などの問題が、何が原因で起きたのか調べる。 	<p>○海で起きている環境問題について調べる。</p> <p>○磯焼けや漁獲量の減少が、どのようなことが原因で起きたのかタブレットパソコンで調べる。</p> <p>評価：磯焼けや漁獲量の減少の原因が何か理解できたか。</p>
1	<p>○海の問題を解決するためにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の問題を解決するために、自分たちにできることを考える。 	<p>○磯焼けや漁獲量の減少などの海の問題を起きている原因を解消するために、自分たちにできることを考え話し合わせる。</p> <p>評価：豊かな海を守っていくためにどのようなことをしていけばよいのか、海との関わりを考えることができたか。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

海洋教育で海について学ぶ意義について理解することができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 海に関する掲示により、課題意識をもつ。	○海について学習している掲示を見せ、海に関する学びである「海洋教育」が進められていることを知らせる。
2 自分なりの課題を考える。	○本時は海洋教育が進められている理由を考えることを確認したうえで、自分なりの課題をワークシートに考えさせる。
3 本時の課題を考える。	○自分なりの課題を発表させ、児童の考えを基に、適切な課題を設定する。
【課題】 なぜ「海」のことについて学ぶのだろうか。	
4 一人調べをする。	○「海」について学習する理由を考え、ワークシートに書かせる。 【期待する児童の考え】 <ul style="list-style-type: none">・海的环境を守るため。・海の生き物が死んできているから。・海の魚を食べて生活してきたから。・海にはいろいろな生き物がいるから。
5 自分の考えを発表し、相互に検討する。	○児童の考えを全体で発表し、児童同士の質疑応答や意見交換をする。

ねりあげの手順 ①自分の考えを発表する。
②付け加えたいことや違った意見を発表する。
③壱岐の海に関する担任の話を聞く。

【切り込み発問】

きれいな壱岐の海をどのようにしたいですか。

6 自分なりのまとめをする。

○本時のまとめを考えさせ、ワークシートに書かせる。

7 本時の課題を解決し、まとめる。

○発表させ、児童の言葉でまとめる。

【まとめ】 壱岐では海の恩恵を受けて生活してきたので、きれいな海を未来に残すために「海」について学ぶ。

8 解決過程や結果のよさを味わう学習活動をする。

○壱岐の海で起きていることについて考える。

9 自己の課題解決の経過をふり返り、次時に生かす。

○7観点のふり返りをしたり、学習のふり返りをしたりする。

3. 今回の活動の自己評価

・海藻が減少することで起こる磯焼けや、壱岐の豊かな水産資源の減少、プラスチックごみの海岸への漂流など、壱岐の「海」で起こって環境問題について知ったことで、「今のままでは壱岐の海が危ない」「壱岐のきれいな海を残すために自分たちができることに取り組もう」という意識が高まり、環境問題へ積極的に関わっていくようになった。

4. 今後の課題

・学習の直後は豊かな海を守っていこうという意識が高いが、時間が経つにつれ「海を守りたい」「海を大切にしたい」という思いが薄れてしまう。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点